



第6章 地域連携研究と研究成果の発信

木村, 修二

古市, 晃

井上, 舞

(Citation)

歴史文化に基礎をおいた地域社会形成のための自治体等との連携事業, 17 (平成30年度事業報告書) :53-55

(Issue Date)

2019-03-22

(Resource Type)

report part

(Version)

Version of Record

(URL)

<https://hdl.handle.net/20.500.14094/81012149>



第6章

地域連携研究と研究成果の発信

地域連携センター年報『LINK【地域・大学・文化】』の刊行

2018年12月26日付で第10号を発行した。特集「住民主体の〈地域史づくり〉—平成大合併後の状況の中で—」を組んだほか、史料紹介1本、論考2本、フィールドリポートを5本、時評・書評・展示評を3本、LINKを読むを1本などを掲載した。

特集

住民主体の〈地域史づくり〉—平成大合併後の状況の中で—

編集委員会 特集にあたって(木村修二執筆)

森下徹 和泉市史における合同調査と地域叙述編—歴史・文化財の活用とその担い手をめぐって—

西村慎太郎 地域史づくりの射程—原子力災害とダム建設・平成の市町村大合併—

前田結城 「棚原モデル」の展開と課題

松岡弘之 学ぶ市史から調べる市史へ—『たどる調べる尼崎の歴史』をめぐって—

史料紹介

前田結城 明石市立文化博物館所蔵黒田家文書「明治二巳年仮日記」

論考

藪田貫 栗野頼之祐と「北摂郷土史学運動」—もうひとつの戦後歴史学—

小野塚航一 「勝尾寺文書」と「類聚目録」—未翻刻文書の位置をめぐって—

フィールドリポート

内田俊秀 災害発生時における市町村文化財担当者の対応を考える—「兵庫県文化遺産防災研修会」によせて—

山内順子 地域史講座「歴楽」の取り組みと成果の一例としての「地域の青銅製品調査」

前田徹 兵庫県立歴史博物館特別展・兵庫県政一五〇周年記念先行事業「ひょうごと秀吉—近年の新紹介資料を交えて—」

天野真志 「歴史文化資料保全の大学・共同利用機関ネットワーク事業」の目指すもの

大槻守 香寺歴史研究会の活動—『村の記憶』を書き継ぐ—

LINKを読む

本井優太郎 『LINK』を読んだ—感想、論評、活動報告、独白—

時評・書評・展示評

跡部史浩 神戸大学附属図書館「阪神・淡路大震災と地域の復興—23年目の神戸と、地域・コミュニティの課題—」

三輪泰史 『住吉の記憶』(阪神・淡路大震災資料集I~III)を読んで

安田容子 「平成29年度生野書院企画展 石川雀翁の世界」展を見て

活動報告

石井大輔 青野原俘虜収容所関連の活動について

室山京子 神戸大学近世地域史研究会について
木村修二 園田学園女子大学との連携による旧『美方町史』編纂関係資料の調査

木村修二 《新刊紹介》奥村弘・村井良介・木村修二編『地域づくりの基礎知識1 地域歴史

遺産と現代社会』神戸大学出版会、二〇一八年一月

木村修二 人文学研究科古文書室架蔵文書群の紹介 (七)

木村修二 人文学研究科古文書室収蔵文書一覧 (二〇一七年度購入分)

(文責・木村修二)

地域連携センタースタッフによる日本学術振興会科学研究費補助金研究

- ・平成 28 年～ 30 年度科学研究費助成事業 (学術研究助成基金助成金)・基盤研究 (C)「近世南海地震記録の現代語訳化；防災・減災活動への現地的活用にもつた実践的研究」(研究代表者・木村修二)

2018 年 12 月 22 日 (土)、徳島県海陽町の阿波海南文化村において、「海陽ヒストリーカフェ 記録から学ぶ南海地震」を開催 (共催・海陽町立博物館、海陽町役場危機管理課、協力・徳島県立文書館、徳島県立博物館、歴史資料保全ネットワーク徳島) し、科研共同研究者の松下正和氏 (地域連携推進室) が「徳島県南部の津波モニュメントー浅川地区を中心にー」と、木村が「文献記録にみる南海地震津波ー旧海南町域を中心にー」と題してそれぞれ話題提供を行い、参加者 (13 名) とのトークセッションを行った。なお、ファシリテーターが郡司早直氏 (海陽町教育委員会) が行った。

- ・平成 28 年～ 30 年度科学研究費助成事業・基盤研究 (C)「現地伝承を踏まえた「荒ぶる神」の鎮祭伝承の共同研究 (研究代表者・坂江渉)
- ・平成 28 年～ 30 年度科学研究費補助金・基盤研究 (C)「有末機関の研究ー有末精三新史料から見る占領期の GHQ と日本陸軍ー」(研究代表者・河島真)
- ・平成 29 年度～ 32 年度科学研究費補助金・基

盤研究 C「自治会保管古文書の恒久的保全体制構築に関する研究」(研究代表者・松下正和)

講演会・市民講座等

現地学習会「歴史から学ぶ防災 2016」における報告

2018 年 2 月 24 日 (土)～ 25 日 (日)、和歌山県由良町中央公民館大研修室を会場に、現地学習会「歴史から学ぶ防災 2016」(主催・和歌山県立博物館施設活性化事業実行委員会、和歌山県立博物館) が開催 (24・新宮市～ 25 日・北山村) され、木村が 24 日に「山門部材に記された安政地震津波の記憶」と題する報告を行った。

(文責・木村修二)

エル・おおさか歴史セミナー

2018 年 4 月 23 日、大阪労働協会主催の「歴史セミナー 都城をめぐる国際交流史」(大阪市中央区 エル・おおさか) にて、「古代の王宮ー歴代遷宮の謎を探るー」と題して講演をおこなった。

(文責・古市晃)

歴楽 TAKEDA における講演

2018 年 6 月 9 日 (土)、兵庫県丹波市市島町の竹田コミュニティセンターを会場に、「歴楽 TAKEDA」(竹田自治振興会主催) が開催され、木村が、「公家領の村 - 中竹田の古文書から -」と題する講演を行った。

(文責 木村修二)

山東町金浦区での講演

2018 年 6 月 14 日 (木)、金浦区公民館において『金浦の歩み』発刊記念シンポジウムが行われ、「地域歴史遺産・・・」と題する講演を行った。

(文責・井上舞)

はびきの市民大学世界遺産講座

2018年8月31日、はびきの市民大学主催の「―百舌鳥・古市古墳群をより深く知るための―世界遺産講座Ⅷ」(大阪府羽曳野市 LIC はびきの)において「古代史からみた百舌鳥・古市古墳群と王権」と題して講演をおこなった。

(文責・古市晃)

の倭王権・播磨・出雲―」(福良地区公民館)において、「文献史からみた5世紀の倭王権と地域間交流」と題してコメンテーターを務めた。

(文責・古市晃)

宮水学園 歴史の謎を探る

2018年11月9日、宮水学園主催の「歴史の謎を探る 日本古代史の謎(1)」(鳴尾公民館)において、「聖徳太子の実像」と題して講演をおこなった。

(文責・古市晃)

宮水学園 歴史の謎を探る

2018年11月16日、宮水学園主催の「歴史の謎を探る 日本古代史の謎(2)」(鳴尾公民館)において、「蘇我氏からみた大化改新」と題して講演をおこなった。

(文責・古市晃)

大山崎町歴史資料館 歴史講演会

2018年11月18日、大山崎町歴史資料館主催の「第26回企画展 行基と山崎院」関連歴史講演会(大山崎町歴史資料館)において、「行基とカミ、ホトケ」と題して公演をおこなった。

(文責・古市晃)

西播磨高齢者大学専門講座

12月7日、西播磨文化会館において開催された高齢者大学専門講座において講師を務め、「柳田國男とその兄弟」というタイトルで講義した。

(文責・井上舞)

ひょうご歴史研究室 シンポジウム

2019年2月3日、ひょうご歴史研究室主催のシンポジウム「淡路島の海人と地域間交流―5世紀